

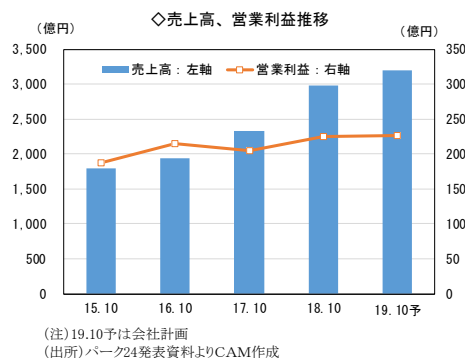
企業ニュース パーク24

(東証1部：4666) <http://www.park24.co.jp/>

作成者：奥村義弘

時間貸駐車場の業界最大手

1971年設立の時間貸駐車場の最大手。1991年、24時間無人時間貸駐車場「タイムズ」の1号物件をオープン。2006年、駐車場の海外展開をスタート。2009年、カーシェアリングサービス（以下カーシェア）に参入。2017年、オセアニア・アジアを中心に駐車場事業を展開するSecure Parking社等の株式を取得し、海外の駐車場事業を拡大した。現在モビリティ事業として、レンタカーサービス、カーシェアを手掛ける。その他ロードサービス、決済サービスなども運営する。19.10期・第2四半期累計（11-4月）の売上高構成比は駐車場事業国内52.3%、駐車場事業海外21.5%、モビリティ事業26.2%。



国内堅調、カーシェア事業も順調に拡大

19.10期・第2四半期累計（11-4月）の連結業績は、売上高が1,541億円、前年同期比8%増、営業利益が100億円、同8%増。国内の駐車場事業は、売上高が808億円、同5%増、営業利益が134億円、同7%増。エリア特性に合わせた地域密着営業で着実に規模を拡大、前期・前々期開発案件の好調な立ち上がりで増収増益となった。海外の駐車場事業は、売上高が331億円、同3%増、営業損失が6.8億円（前年同期営業損失1.6億円）。運営件数や台数は増加したが、ガバナンス体制の整備やシステム投資などに費用を要した。モビリティ事業は、売上高が404億円、同19%増、営業利益が30億円、同69%増。特にカーシェアの車両台数は25,010台、同16%増。法人への積極的な営業活動も奏功し、平日の稼働が好調で、1カ月の台当たり売上高は同7%増、同営業利益は57%増となり業績拡大に寄与した。なおセグメント別営業利益の調整額として、のれん償却費や総務部門等管理部門に係る全社費用で58億円を計上している。

19.10期の会社計画は売上高が3,200億円、前期比7%増。営業利益が226億円、同微増。堅調な国内駐車場事業やカーシェア事業の力強い伸長が続こう。消費税率の引き上げに対しては駐車場の最低価格単位を100円から10円とし、柔軟な価格転嫁対応ができる体制とする。

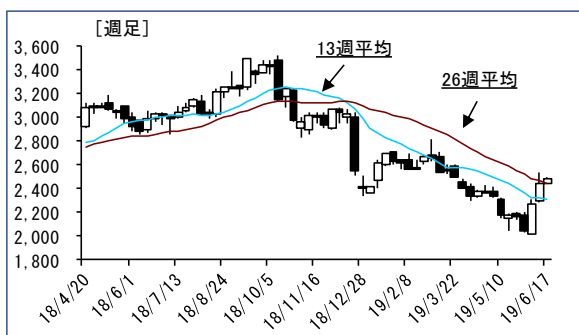
[株価動向・投資判断]

カーシェア事業の順調な拡大が確認され成長期待が高まった。来期に課題の海外事業の黒字化にめどがつけば一段の評価向上が期待できよう。

<4666 パーク24 業績：日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
17.10	232,956 (20)	20,505 (▲ 4)	20,281 (▲ 4)	13,439 (▲ 4)	91.7	70.00
18.10	298,517 (28)	22,539 (10)	22,532 (11)	13,851 (3)	91.9	70.00
19.10 予	320,000 (7)	22,600 (0)	23,000 (2)	12,800 (▲ 8)	82.7	70.00



[主要株価指標]	(売買単位：100株)
株価 (2019/6/17)	2,478 円
年初来高値 (高値日)	2,810 円 (19/3/1)
同 安値 (安値日)	2,015 円 (19/6/3)
予想 P E R (19.10 予)	30.0 倍
1株株主資本 (PBR算出用)	569.1 円
P B R	4.35 倍
予想配当利回り	2.82 %
(1株当たり配当金70.00円)	
R O E (18.10)	16.1 %
発行済み株式数	15,478 万株